

科目コード	ナンパリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320267	XZY1320267			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
リーディング 1A	矢口 裕子	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

この授業では、文法項目の総合的再確認を一つの柱とし、日本を訪れる外国人に日本を紹介する表現を学ぶことをもう一つの柱とする。文法・コミュニケーション・読解能力の総合的向上をめざす。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】イントロダクション

【前・後】1章予習

第 2 回

【授】1. 空港で

【前・後】1章復習・2章予習

第 3 回

【授】2. マションに到着

【前・後】2章復習・3章予習

第 4 回

【授】3. お客様を迎える

【前・後】3章復習・4章予習

第 5 回

【授】4. デバ地下でお買い物

【前・後】4章復習・5章予習

第 6 回

【授】5. お花見

【前・後】5章復習・6章予習

第 7 回

【授】6. 浅草へ行こう

【前・後】6章復習・7章予習

第 8 回

【授】7. 秋葉原を散策

【前・後】7章復習・8章予習

第 9 回

【授】8. 平和への祈り

【前・後】8章復習・9章予習

第 10 回

【授】9. 京都旅行

【前・後】9章復習・10章予習

第 11 回

【授】10. 茶道初体験

【前・後】10章復習・11章予習

第 12 回

【授】11. 京都の思い出

【前・後】11章復習・12章予習

第 13 回

【授】12. 日本滞在最後の日

【前・後】12章復習・13章予習

第 14 回

【授】13. 日本の事象を英語で説明

【前・後】13章復習・14章予習

第 15 回

【授】14. 最後の晚餐

【前・後】14章および総合復習

第 16 回

【授】試験

【前・後】試験勉強

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

教科書参考書

Introduce Japan in Easy English(朝日出版社)

受講に当たっての留意事項

全員が予習してきていることを前提に授業を進める。出席のための出席は意味がない。辞書は必ず持参のこと。

学習到達目標

文法の総復習、コミュニケーション・読解能力の向上をめざす。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンパリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320267	XZY1320267			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
リーディング1B	矢口 裕子	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

この授業では、文法項目の総合的再確認を一つの柱とし、日本を訪れる外国人に日本を紹介する表現を学ぶことをもう一つの柱とする。文法・コミュニケーション・読解能力の総合的向上をめざす。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション

【前・後】1章予習

第2回

【授】1. 空港で

【前・後】1章復習・2章予習

第3回

【授】2. マションに到着

【前・後】2章復習・3章予習

第4回

【授】3. お客様を迎える

【前・後】3章復習・4章予習

第5回

【授】4. デバ地下でお買い物

【前・後】4章復習・5章予習

第6回

【授】5. お花見

【前・後】5章復習・6章予習

第7回

【授】6. 浅草へ行こう

【前・後】6章復習・7章予習

第8回

【授】7. 秋葉原を散策

【前・後】7章復習・8章予習

第9回

【授】8. 平和への祈り

【前・後】8章復習・9章予習

第10回

【授】9. 京都旅行

【前・後】9章復習・10章予習

第11回

【授】10. 茶道初体験

【前・後】10章復習・11章予習

第12回

【授】11. 京都の思い出

【前・後】11章復習・12章予習

第13回

【授】12. 日本滞在最後の日

【前・後】12章復習・13章予習

第14回

【授】13. 日本の事象を英語で説明

【前・後】13章復習・14章予習

第15回

【授】14. 最後の晚餐

【前・後】14章および総合復習

第16回

【授】試験

【前・後】試験勉強

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

教科書参考書

Introduce Japan in Easy English(朝日出版社)

受講に当たっての留意事項

全員が予習してきていることを前提に授業を進める。出席のための出席は意味がない。辞書は必ず持参のこと。

学習到達目標

文法の総復習、コミュニケーション・読解能力の向上をめざす。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320267	XZY1320267			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
リーディング 1C	大竹 芳夫	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

平明な英語で書かれた文書を正確に読むことができるようになることを目指します。

日常生活で抱く科学的疑問に答える形式の英文を読みながらリーディング用教材で読解力を高めるとともに、テキストの音声を活用してシャドーイングを実践しつつリスニング能力の向上を目指します。TOEICやTOEFLのスコア向上に役立つリスニングや文法のポイントなども学びます。また、日常生活を場面ごとに取り上げるDVD教材を活用し、英語音声の特徴に留意しながらスピーキング能力も高めます。

各回毎の授業内容

第1回

【授】オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第2回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第3回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第4回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第5回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第6回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第7回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第8回

【授】第2週から7週までのまとめ、効果的な英語学習について

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第9回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第10回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第11回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第12回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第13回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第14回

【授】リーディング用教材 + DVD教材に基づく学習

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第15回

【授】第9週から14週までのまとめ、今後の英語学習について

【前・後】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。

第16回

【授】テストとその他

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							20
演習							
その他							

適宜行われる小テストと最終回のテストの合計(80%) + 発表内容(20%)により評価します。

自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。

教科書参考書

Asking Why? The Science of Everyday Life. (Kinsei-do, ¥2,052(税込)) ISBN 978-4-7647-3945-1

受講に当たっての留意事項

英和辞典や英英辞典(電子辞書も可)を授業時に持参すること。

各回の準備学習の具体的な内容については初回授業時に指示する。

学習到達目標

大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な英語で書かれた文書を正確に読むことができるようになることを目指します。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320267	XZY1320267			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
リーディング 1D	藤本 直生	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

このクラスでは、Intensive Reading (略して IR、精読) と Extensive Reading (略して ER、多読) の 2 種類のリーディングを行います。IR では教室で教科書『Tomorrow 一読んで考える最新トピック 15』を使い、さまざまな内容の記事を読みます。ER では図書館にある Graded Readers の中から自分の興味ある内容の本を選んで、昼休みや放課後等の時間を使って各自のペースで読み進めます。英語の記事や本をたくさん読んで、ボキャブラリーを増やし基礎的な英語力を身に付けます。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】自己紹介、英語係選出、オリエンテーション
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 2 回

【授】1. スポーツ The Dreams of Nadeshiko Japan 夢に向かってーなでしこジャパン
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 3 回

【授】2. 教育 Dance! Dance! Dance! 中学校では必須一人気のヒップホップダンス
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 4 回

【授】3. 科学 The Fastest Human in the World ウサイン・ボルト選手はどのくらい速いのか?
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 5 回

【授】4. 建築 Tokyo Skytree: A New Japanese Landmark 新旧技術の融合 東京スカイツリーの魅力
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 6 回

【授】5. エネルギー The Future of Energy: It's Our Choice 世界のエネルギー事情と日本の選択
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 7 回

【授】6. 文化 Manga and Anime Reach Out to the World 世界に広がるマンガ・アニメ文化
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 8 回

【授】7. 食 Sweets Make People Smile パティシエ辻口博啓さんのスイーツに懸ける想い
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 9 回

【授】8. 技術 Mobile Evolution: From Shoulder Phone to Smartphone 進化する携帯電話とコミュニケーションの変化
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 10 回

【授】9. 芸能 Shine in Your Own Way レディー・ガガの歌に込められたメッセージ
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 11 回

【授】10. 国 See You in the UK 英国の歴史と文化の魅力を再発見
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 12 回

【授】11. 人物 Stay Hungry, Stay Foolish スティーブ・ジョブズ氏の心に残るスピーチ
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 13 回

【授】12. 世界 Is There Enough Food for Everyone? 世界の食糧不足の真の原因とは?
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 14 回

【授】13. 経済 How Does "Endaka" Affect Us? 円高が日本経済に及ぼす影響
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 15 回

【授】14. 哲学 The Most Popular Philosophy Class in the World ハーバード大学のサンデル教授が説く哲学の役割
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

第 16 回

【授】期末試験
【前・後】ER として Graded Readers を自分のペースで読み進める。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	○						50
小テスト・授業内レポート	○	○		○			10
宿題・授業外レポート			○				20
授業態度・授業への参加	○	○		○			20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

評価は定期試験の結果だけでなく、授業参加および授業内 (IR) 授業外 (ER) での勉強の成果を反映させます。

教科書参考書

『Tomorrow 一読んで考える最新トピック 15』室井美稚子著、桐原書店

受講に当たっての留意事項

ER に関しては『めざせ! 100 万語 読書記録手帳』に自分が読んだ本について、記録して文字数をカウントします。

欠席 5 回以上で試験資格を失うので、十分注意して下さい。なお、20 分以上の遅刻は欠席と見なします。

学習到達目標

IR では、英文を一語一句丁寧に読むよりも大事な個所を短時間で探し出して読むことや大まかな内容を理解する技術を身に付けます。

ER では、大学在学中の 4 年間で 100 万語 (25 万語 × 4 年) 読破することを目指すため、今学期は 125,000 語をターゲットとします。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習